関町小通信

令和５年度
練馬区立関町小学校
学校だより１１月号

令和５年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

校　長　加園　正子

４月１８日（火）に実施されました「全国学力・学習状況調査」（６年生）の結果についてお知らせします。尚、紙面の都合により質問紙による意識調査は特にご家庭で理解いただきたい部分のみのお知らせとなることをご了承ください。

１　国語　平均正答率の比較　（本校が都・全国より上回るポイント（P）は下線記載。）

	国語全般
関町小	72.0
東京都	69.0
全国	67.2

全国平均より５.２P 高く、都平均より３P 上回りました。領域別に分析しても知識及び技能はすべての項目を、思考力・判断力・表現力等では、B 書くこと以外の項目で東京都、全国の平均ともに上回り、良い結果といえます。昨年度まで取り組んでいた国語を中心とした校内研究の成果とも考えられます。しかし、B 書くことは全国を３.６P、都平均からは１.４P 下回る結果となりました。

国語　領域別の比較

学習指導要領の内容			関町小	東京都	全　国
	知識及び技能	（1）言葉の特徴や使い方に関する事項	76.5	73.6	71.2
		（2）情報の扱い方に関する事項	70.9	66.5	63.4
		（3）我が国の言語文化に関する事項			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	77.3	73.5	72.6
		B 書くこと	25.3	28.9	26.7
		C 読むこと	76.6	73.2	71.2

◎漢字の正しい使い方（習った漢字を正しく使うこと）が昨年度の調査から見えた課題でした。一年間の朝学習や家庭学習の充実により、言葉の特徴や使い方に関する理解が深まってきたといえます。「B　書くこと」の設問は【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書くという問題でした。図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかを問う問題です。正答率を見ても少し難しかったことが分かります。この設問は様々な条件を満たしていることが求められ、グラフ・カードから分かること、自分の考え、文字数など条件が多かったことも誤答の一因かもしれません。様々な教科の中で資料を活用したり、毎日の授業で今日の学習を振り返ったりと考えをまとめ、「書く」場面を大切にしていきます。

２　算数　平均正答率の比較

	算数全般
関町小	68.0
東京都	67.0
全国	62.5

全国平均より 5.5P、都平均よりわずか１P 高い状況でした。領域別に分析すると、「A 数と計算」領域では全国平均より 7.2P、都平均より 3.5P 高い結果となりました。図形領域では、全国平均より 3.2P 高かったものの都の平均からは 3.4P 低い結果となりました。算数では領域別に見ても全国の平均は上回っていますが、B 図形、D 変化と関係の内容で都の平均より低い数値となりました。

算数　領域別の比較

学習指導要領の内容		関町小	東京都	全　国
	A 数と計算	74.5	71.0	67.3
	B 図形	51.4	54.8	48.2
	C 測定			
	D 変化と関係	75.3	75.8	70.9
	E データの活用	69.2	67.3	65.5

◎図形は１年生の「かたちあそび」から学習が始まります。低学年においては図形に関わる数学的活動を通して、形の名前、図形を辺や点の数から構成の仕方を考えます。また、身の回りにある形に興味をもてるようにすることが大切です。今回、正答率の低かった問題は「２つに折った紙を切って、正三角形にするために頂点の角度は何度にすればよいか？」という問題でした。図形への理解を深めていくためには構成要素に着目して、分類したり弁別したりする活動が大切です。多面的に図形を見ていく学習を積み上げ、自学での振り返りなどで定着に努めてまいります。

３　児童質問紙による意識調査

（１）基本的な生活習慣等

朝食・就寝時刻については、概ね良好な結果であることが分かりました。都や全国の平均と比べて毎日同じ時刻に起床できている児童が少し多いようです。今後も続けていきたい大切な生活リズムです。ゲーム等に費やす時間は平均に比べると少ないようですが、依然として増加傾向にあります。使い方などはご家庭でもよく話し合ってルールを守って使えるようにお話しいただけたらと思います。引き続き学校でも指導していきます。

（２）挑戦心　達成感　自己有用感等

	関町小	東京都	全　国
自分には、よいところがある	78.5	83.6	83.5
将来の夢や目標を持っている	79.6	79.6	81.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.6	94.9	95.9
人が困っているときは、進んで助けていますか	93.6	90.5	91.6
自分と違う意見について考えるのは楽しい	78.5	74.8	76.5

「自分には、よいところがある」と答えた児童が 78.5%と都・全国平均ともに 5P 以上低くなり、今年度は例年より低い傾向がありました。また「将来の夢や目標を持っている」という設問にも全国を２P 下回りました。なかなか自分に自信が持てずにいる傾向があります。一方で友達を助けてあげたい・人の役に立つ人間になりたいという気持ちは、都の平均を３P 以上上回る結果となりました。思いやりの心が育っています。子ども達の成長や良さを見取り、価値付けることで自分の良さを再確認し、目標に向かって挑戦できるように励ましていきます。また「キャリアパスポート」等も利活用しながら教員・学校全体で「認め合い・励まし合い」を継続し、自己肯定感を高められるよう指導してまいります。

（３）学習習慣　学習環境等

	関町小	東京都	全　国
家で自分で計画を立てて勉強していますか（予習や復習を含む）	78.5	71.5	70.7
家で平日２時間以上勉強している（塾やネット活用を含む）	41.9	39.8	25.6

１日１時間以上読書をしている	52.8	42.3	37.3
家に１００冊以上、本がある	52.7	40.3	33.2

昨年度に比べ、自分で計画を立てて学習できる児童が増えてきており、平日の学習時間も２時間を超える割合は全国平均を上回りました。石神井西中学校区の取組で行っている「自学」も４年生から実施しています。個々の興味・関心に基づきながら計画を立て、学んでいく方法を身につけられるように取り組んでいます。また、読書習慣についても大変良い結果が見られました。全国と比べると１日１時間以上読書をする児童が 15.5P も多いことが分かります。本校では、毎週金曜日の朝は朝読書の時間として位置付けていますが、学期ごとに　読書週間があり、きらきら文庫さんによる素敵な読み語りもあります。ブックトークや本の探検ラリーなど児童が本と出合う機会をこれからも大切にしていきます。また、年間の目標である低学年は１００冊読書、高学年は５０００ページ読書達成に向けご家庭でもご協力お願いします。

（4）地域や社会に関わる活動参加状況

	関町小	東京都	全　国
今住んでいる地域の行事に参加している	46.3	46.8	57.8
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	79.5	73.6	76.8

少しずつコロナ禍により中止を余儀なくされた行事も開催できるようになってきました。地域行事への参加を学校からも働きかけ、地域に愛着をもてる子供たちになってほしいと思っています。現在「地域を知り・地域を学ぶ」学習活動を充実させるとともに、発展させ地域との繋がりを意識させていきたいと思います。１２月には学校応援団まつりが予定されています。学校応援団、青少年委員、育成委員会、町会など様々な立場の方々がイベントを企画、運営に協力してくださいます。是非、多くの方にご参加いただきたいと思っています。

（5）学習に対する興味関心･授業の理解度等

	関町小	東京都	全　国
国語の勉強は好きですか	58.0	62.0	61.5
国語の授業の内容はよく分かる	90.4	86.0	85.7
国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	91.3	92.8
算数の勉強は好きですか	69.9	65.7	61.4
算数の授業の内容はよく分かる	89.2	84.9	81.2
算数の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4	92.6	93.3
英語の勉強は好きですか	81.8	65.8	69.3
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	66.7	53.8	52.5

国語・算数・英語ともにどの教科も 80%以上の児童が「よくわかる」と回答しています。

今回の調査により見えた本校児童の実態として、英語への関心の高さが伺えます。「英語の勉強は好きですか」の問いには 81.8%と東京都、全国の平均と比較しても非常に優位なことが分かります。また将来的に英語を使うような仕事、生活をしたいと考えている児童もたくさんいました。昨年度より英語は学級数の増加に伴い専科の先生の授業となっています。今年からは待望の「English Room」もでき、学習環境も充実してきました。今年度、関町小では算数をテーマに校内研究を進めています。どの教科も児童にとって魅力ある学習となるよう「学びたい」「やってみたい」という探求心を育て「わかってできる」を目指し努めてまいります。

いたのだと思います習熟度別算数学習による発展的な学習ややタブレットを活用した英語指導等のさらなる指導の充実を図りながら、児童の意欲的な伝え合いの取り組みや

主体的・対話的で深い学びの視点からの取り組み

☆ 話し合い活動の中では内容を理解しながら最後まで友達の話をしっかり聞いて、考えを受け止めてさらに考えを深め、自分の考えを伝えていくことを楽しく感じている児童が多い結果となりました。３ 年間校内研究で取り組んでいる主体的・対話的深い学びの視点からの取り組みが浸透している成果の表れだと思います。コロナ禍で思うように会話ができないときにでも行ってきたホワイトボードの活用やタブレット活用による交流なども児童にとって自分の考えを伝える手段として効果的な取り組みに感じていたのだと思います。